

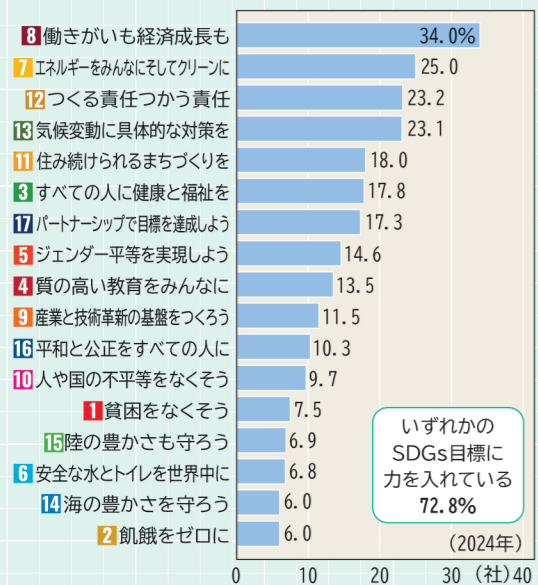


課題 ▶ 企業が社会に対して果たすべき責任とは何だろうか。



SDGsに配慮した企業の取り組み

企業の社会的責任の一つとして、SDGsへの取り組みが注目されている(▶p.153)。企業にとってもSDGsに取り組むことは、企業価値の向上やESG投資(▶p.199)など資金調達の間からもメリットがあり、多くの企業が取り組みを進めている。



↑SDGs17目標のうち、企業が現在力を入れている項目(帝国データバンク資料)



「バナナペーパー」から始めるSDGs

紙製品メーカーのミヤザワ株式会社(埼玉県)は、アフリカのザンビアで廃棄されていたオーガニックバナナの茎から繊維を取り出し、日本の越前和紙の技術を用いてバナナペーパーをつくっている。木を切らずにつくるため森林が失われず、動物の絶滅防止にもつながっている。また、製造には現地の人々を採用することで、産業のなかった小さな村でも雇用を生んでいる。



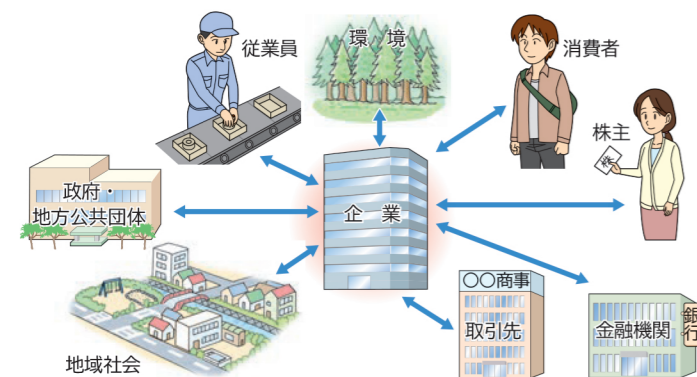
はかり売りでプラスチック削減

コンビニエンスストアのローソン(東京都)は、「ナチュラルローソン」の一部店舗で、洗剤などはかり売りをおこなっている※。消費者は自分に必要な量だけを購入することができ、再利用できる無料の容器やマイボトルに入れて持ち帰ることで、ごみの削減とこれまで既製品の容器に使われていたプラスチックの削減(▶p.238)につながっている。

※本取り組みは2025年10月に終了。



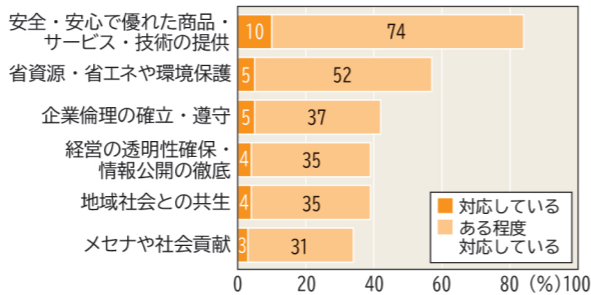
1 社会の一員としての企業



① 企業の社会における利害関係

解説 CSRが重視される背景 資本主義経済では、民間企業は利潤の追求を目的として活動している。一方で、企業は従業員・消費者・地域社会などの利害関係者(ステークホルダー)と密接に関係していることから、企業が法律やルールを守るだけでなく、積極的に社会に貢献することが期待されている。社会の一員として、企業の社会的責任(CSR)が重視されるようになったのである。

① 企業の果たす役割や責任について、企業はどの程度対応していると思うか



② 生活者の企業観に関するアンケート(経済広報センター資料)

解説 組織の社会的責任に関する国際規格として、ISO26000がある。この鍵となる中核主題として、①組織統治、②人権、③労働観、④環境、⑤公正な事業慣行、⑥消費者課題、⑦コミュニティへの参画があげられている。

プラス@ 公益通報者保護法 企業の不正を内部告発した労働者を保護するための法律であり、公務員にも適用される。公益通報と認められた場合は、通報者の解雇や降格・減給などの不利益な取り扱いを禁止することが定められている。



2 コーポレート・ガバナンス(企業統治)...

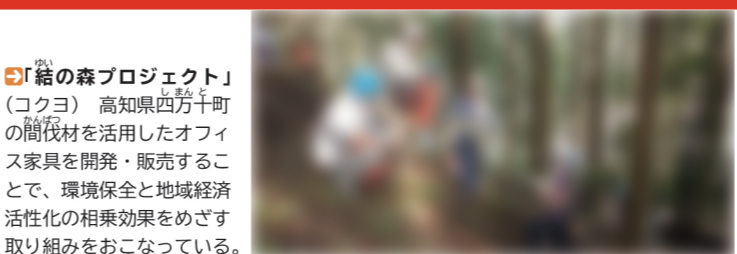


解説 コンプライアンス(法令遵守)は当然 企業がステークホルダーの立場をふまえたうえで、透明・公正・迅速な意思決定により健全な企業運営をおこなうくみをコーポレート・ガバナンス(企業統治)という。企業は社会の一構成員として、法律やルールを守って公正な経済活動をおこなうコンプライアンス(法令遵守)の徹底が求められる。このほか、財務情報(▶p.173)や不良品などの情報を開示するディスクロージャーや、欠陥商品の回収・修理などにおける誠意ある対応、自社製品の使用後の廃棄までも視野に入れた商品開発など、利潤追求だけでなく企業のあり方の視点も大切である。

3 メセナとフィランソロピー



① 工事現場のアート作品展示(西海建設) 長崎県の工事現場の仮囲いに、障害がある人が描いたアート作品を展示している。作品を採用することでアート活動を支援し、作品を通じて障害がある人への理解が深まることをめざしている。



② 「結の森プロジェクト」(ココヨ) 高知県高岡郡高岡町の間伐材を活用したオフィス家具を開発・販売することで、環境保全と地域経済活性化の相乗効果をめざす取り組みをおこなっている。

解説 企業の社会的役割 メセナとは、企業の芸術・文化支援活動のことで、豊かな社会を築いていくための活動として領域が広がっている。一方、フィランソロピーとは企業の社会貢献活動のことで、寄付やボランティアなど、社会課題の解決に向けた活動や取り組みのことをいう。いずれも、企業の社会的役割の一つとして重要視されている。

確認 ▶ 企業の社会的責任には、どのようなことがあるかあげよう。
活用 ▶ メセナやフィランソロピーの事例を調べ、事業とのかかわりを考えよう。

4 社会的企業

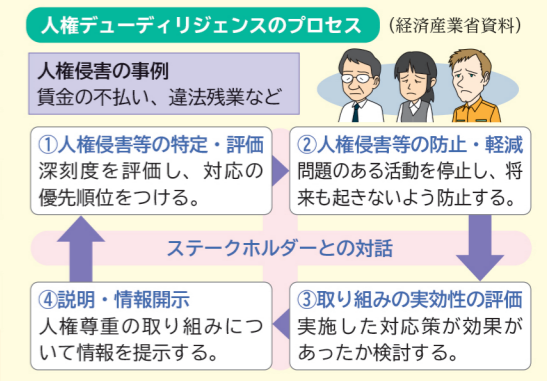


① 障害児保育をおこなう認定NPO法人(東京都) 医療的なケアが必要な子どもは全国で約2万人といわれ、受け入れ先の不足が問題となっている。認定NPO法人フローレンスでは、障害の有無にかかわらず親子が笑顔で暮らせる社会の実現に向けて、障害児の長時間保育を実現する保育園の運営や、利用者家庭での保育・支援をおこなっている。

解説 社会的企業が社会を変える 環境や福祉、教育など、現代社会のさまざまな課題にビジネスとして取り組む、社会的企業が注目されている。社会的企業は、1980年代後半以降にイギリスやアメリカで注目され始めた。日本でも2000年代以降、政府が対応できない部分を補う役割を果たす企業が生み出されている。

Topic 企業と人権

企業における人権対応の重要性が高まっている。日本でも、長時間労働やハラスメントといった職場での人権侵害が社会問題となっている。また、外国人労働者への不当な待遇や、安全面を軽視した労働環境も指摘されている。こうした問題を放置すれば、働く人の健康や尊厳が損なわれるだけでなく、企業の信頼も失われかねない。そこで注目されているのが人権デューデリジェンスだ。これは、企業の事業や取引先が人権に悪影響を与えていないかを継続的に調査・評価し、問題があれば改善に取り組む一連の取り組みをさす。すべての人の権利を守る企業姿勢が、いま強く求められている。



経済

